

## 産官学民が連携した「全世代型防災教育」

令和元年5月に、本市をはじめ産官学民が参画する「松山市防災教育推進協議会」を設立。同年10月には愛媛大学と連携して「松山防災リーダー育成センター」を設置し、発達段階や職域に合わせた防災教育のプログラムを開発。全ての世代・職域への防災教育と、防災リーダーの育成に取り組んでいます。

### 全世代型防災教育の仕組み 第26回防災まちづくり大賞「消防庁長官賞」を受賞

①世代や職域に合わせたプログラムで、小学生から高齢者まで**防災学習**

**小中学生**

自分を守り  
地域を守る

**高校生**

自分たちに  
何ができるか

**大学生**

一人ひとりが  
リーダーに

**地域**

オール松山で

**学校教員**

全職域に

**企業・福祉**

防災教育を

②全世代・職域で**防災リーダー育成プログラム**を展開！

小中高校生の防災リーダー  
**ジュニア防災リーダークラブ**

ぼうさい甲子園  
「URレジリエンス賞」

大学生の防災リーダー  
**防災リーダークラブ**

ぼうさい甲子園  
「ぼうさい大賞」

地域・学校・企業・福祉の防災リーダー  
**防災エドゥケーター**

松山市自主防災組織ネットワーク会議  
防災功労者内閣総理大臣表彰受賞

### ジュニア防災リーダークラブ

小学校5年生から高校生までの希望者で結成。令和3年度は1,000名以上が参加。防災キャンプや防災まち歩きなどを通じて、知識や技術を習得。



### 防災リーダークラブ

愛媛大学と連携し、単位と防災士資格が同時取得できる「環境防災学」を開講。資格取得した大学生で「防災リーダークラブ」を結成し、地域や学校の防災活動を支援。



### 学校防災教育の支援

市教育委員会と連携して学校教員への防災研修を開催。

また、防災教育サポート動画などの支援ツールも開発し、学校での防災学習を推進している。



### 防災エドゥケーター

令和4年2月末現在、松山市の防災士数は全国自治体で最多の7,295人。さらに、育成センターで「防災エドゥケーター」の資格を新設し、防災教育の指導者として活躍中。



# 中四国初の 救急ワークステーション

平成27年10月から「常駐型救急ワークステーション」の運用を開始し、救急業務のさらなる高度化と病院前救護活動の質の向上を図っています。

- 重症傷病者の発生事案に、24時間体制での医師同乗出動
- 救急救命士の病院実習再教育と救急出動体制維持の両立
- 指導救命士による救急隊員などへの生涯教育の充実
- 他消防本部職員や医療関係者の各種研修の受け入れ
- 医療機関との顔の見える関係の深化



松山市救急ワークステーション

## 中島地区ヘリポート

島しょ部の消防・救急体制のさらなる充実のため、中島地区の天谷小学校跡と中島南小学校跡の2カ所にヘリポートを整備し、令和元年7月1日から運用を開始しました。

もとの緊急時離着陸場をアスファルトなどで舗装したことで、離着陸時に必要であった散水が不要になり、より安全で迅速な活動ができるようになりました。



天谷小学校跡ヘリポート